

令和5年度
10月

幼稚園だより

令和5年9月29日
文京区立湯島幼稚園



身近な大人をまねること、学ぶ(まねぶ)こと

副園長 澤田 亮

ある日、もも組の保育室で、子どもたちがプールごっこを楽しんでいました。ウレタン積み木を四角く並べてプールを作っています。人形をプールの中に入れてながら、「こっちは子ども用のプールですよ。あっちは大人用です」「シャワーからはお湯が出ますよ」と、イメージの世界を楽しんでいます。「プールカードはこれにタッチしてください」「ピッ」と、驚くことに、プールカードがICカードになっていました。途中で、Aさんが「薬入れまーす。プールから出てくださーい」と言いながら人形を縁の積み木に並べます。その口調は担任の先生にそっくりです。その子は、プール遊びのときに塩素を入れる先生をまねていました。

ばら組では、おうちごっこを楽しんでいました。数人の子どもたちがテーブルにお皿を並べて「パーティーだね」と言いながら料理を作っています。「私は洗いの役ね。その間フルーツ切ってちょうだい」「玉ねぎを切るときはメガネをしなきゃダメなんだよ、目が痛くなっちゃうから」「ジュースを入れるからコップとってちょうだい」と、ここでもたくさんの言葉が行き交っています。きっとご家庭で自分が見たことや言われたことを再現しているのでしょう。

ゆり組では運動会に向けて活動を進めています。1人の子が「長い針が3になったら〇〇係で集まろうって言っていたのに、まだ集まっていないよ」と言うと、もう1人の子が「みんな気付いていないかもしれないから、私呼んでくるね!」と仲間を呼びに行きました。また、子どもたちが2人組になり、もも組やばら組、職員室に行き、「〇〇組は何を踊るんですか?」「小さいお友達は何をするんですか?」と競技の内容を聞いていました。ゆり組に戻り、司会で言う言葉を2人で相談して決めました。1学期は先生がリードして活動に取り組むことが多かったのですが、自分たちで意識して活動を進めようとする姿がたくさん見られるようになりました。

幼稚園教育要領解説に、「幼児期は、信頼や憧れをもって見ている周囲の対象の言動や態度などを模倣したり、自分の行動にそのまま取り入れたりすることが多い時期」とあります。プールごっこでもおうちごっこでも、先生や家族のまね(模倣)を楽しんでいました。そして、先生のまねをしていた子どもたちも、いつの間にか、自分たちで活動を進めようとするようになっていきます。

「学ぶ」という言葉の語源は、「まねる」から変化し、「まねぶ」「まなぶ」となったという説があります。子どもたちは日々いろいろなことを見て、聞いて、体験して、遊びの中で再現して、なりきって、そしてたくさんのかたちを学んで成長しているのだと感じました。

10月7日は運動会です。今年は4年振りに来賓の方も呼びしての開催となります。保護者の方もたくさんの方がいらっしゃるかと思います。子どもたちの、のびのびと体を動かして楽しむ姿をお楽しみにしてください!



プールごっこ
楽しいね!



お料理が並んで
パーティーだね



運動会に向けた
相談の場面